

南陽中学校のESD活動

<活動の概要>

・本校はESDを「未来へつなぐ学びの実現」と捉え、ESDの実践を通して「未来に向かってたくましく生き抜く力の育成」を目標とした。具体的には、防災、人権、地域連携を柱に、①「いのちの月間」を中心とした「いのちの学習」、②地域とのつながりを深める学校行事・生徒会活動、③安全・安心な町づくり、学校づくりを旨とした防災学習について実践した。

・活動の実際

① 「いのちの月間」を中心とした「いのちの学習」(全校生徒)

6月を「いのちの月間」とし、学級活動、道徳などを柱にして、「いのち」をテーマとした学習を実施している。本年度は、6月21日に、南陽中学校開校と同時に入学し、3年間過ごした初めての卒業生(第3回卒業生)である「具 芳明(ぐ よしあき)氏」《東京医科歯科大学:教授》を講師に招き、『感染症対策の最前線より!』として講演をしていただいた。感染症の分野で日本の第一人者として活躍されている大先輩が語る一語一語を、生徒たちが瞳を輝かせて聴き入る姿が印象的であった。

② 地域とのつながりを深める学校行事・生徒会活動(全校生徒・地域・保護者)

本年度の9月26日午後に南陽祭を実施した。全校生徒が体育館に一堂に会し、太鼓部や吹奏楽部などの文化部の発表や、有志グループによるパフォーマンスなどを行った。感想やよかった点などを「ありがとうカード」に記入し、カードを通して他学年や他学級との交流をはかった。また、保護者にも来校していただき、多くの保護者が生徒のがんばっている姿を参観していただいた。

「地域と連携して、地域に貢献できることはないか」という生徒の意見から始まった「さ〜くりん(地域清掃活動)」は、年間に2回計画している。2回目は中止となってしまったが、1回目を6月に行い、生徒・職員・保護者・地域の方、総勢約130名で高師緑地公園の清掃活動を行った。活動を通して生徒、職員、地域の方が一緒にボランティア活動をし、中学生が地域の一員として自覚を高め、地域の方とつながりを築くよい機会となっている。



【第1回さ〜くりんの様子】

③ 安全・安心な町づくり、学校づくりを旨とした防災学習(全校生徒・3年生)

第1回避難訓練は、地震による火災の発生を想定し、グラウンドへの避難訓練を実施した。第2回は、地震後の津波発生を想定し、校舎の3・4階の避難教室に垂直避難する訓練を行った。これらの訓練により、災害時にどのような行動をとるべきかを主体的に考え、自ら命を守る行動をとれる生徒の育成を旨としている。

3年の総合学習では、「防災学習〜目指せ、地域の防災リーダー〜」をテーマに防災に関する探究学習を行っている。市の防災危機管理課と連絡を取りながら、防災に関するさまざまなテーマを設定し、グループにわかれて体験活動を行った。生徒は、「もし、自分たちが同じ被害にあったら、何ができるのか」

「各家庭で事前に備えておくべきことは何か」などについて学習を深めた。



【グループ学習の様子】